

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2190500153		
法人名	有限会社百々		
事業所名	グループホーム百々各務原		
所在地	岐阜県各務原市那加桐野町7-44-1		
自己評価作成日	令和6年8月26日	評価結果市町村受理日	令和6年11月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaiyokensaku.mhlw.go.jp/21/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&jiyosyoCd=2190500153-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	令和6年10月18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

少しずつ外出の機会を設けることができ始めました。市の事業者協議会の作品展では出品した作品展示に出かけたり、春にはお花見、夏祭り、運動会などできる範囲で楽しんでいただけるようになっていきます。また家族様との交流を断つことなく、外出の支援もしています。ホームの理念である「家庭的な雰囲気の中で心安らぐ毎日を」を実践するために職員が日々「何ができるか」を考えています。健康面では訪問看護ステーションと提携して24時間皆様の安全に気を付けています。資格取得の職員研修も設け、職員の向上心を図っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

家庭的な雰囲気を大切にしながら、利用者のその日の体調や気分に合わせて、穏やかな暮らしが出来るように支援している。食事の片づけ、洗濯物量み、作品づくり等の出来ることを見出し、楽しみながら張り合いとなる生活にしている。大型スーパーで開催される介護事業所作品展示スペースには、テーマを決め利用者と一緒に作品をつくり見学にも出掛けている。事業所の動画を流し利用者の作品をプレゼントする計画もあり、認知症への理解や地域での事業所の啓発にも取り組んでいる。家族の要望に合わせ些細な事もお知らせし、安心感や信頼関係を厚くしている。住民が木の伐採や草刈りをしてもらうこともあり、事業所もゴミ当番を担当し地域の一員として受け入れられている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～42で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
43	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:15)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	50	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
44	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14,27)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	51	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
45	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:27)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	52	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:3)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
46	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:25,26)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	53	職員は、活き活きと働いている (参考項目:10,11)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
47	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:36)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	54	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
48	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:20)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	55	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
49	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:18)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

自己 外部	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	本来のグループホームのあり方を実践するため、「家庭的」を柱とした理念を掲げています。職員とも共有できるように理念を各所に張り出しています	理念を玄関やリビングに掲示して、理念の共有と意識づけに努めている。利用者一人ひとりが心安らぐ家庭的な暮らしができる為に、何ができるかを考えながら取り組んでいる。ミーティングで日々のケアを振り返り、理念について話し合う事もある。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	市の事業者協議会に参加し、作品展出品を行っています。自治会に加入し、ごみ当番も行っています。運営推進会議にて事業所の活動を報告し、回覧にも活動の紹介をしていただいております	散歩時に畑仕事をしている住民と挨拶や話しをしている。町内の芋掘りに参加したり、大型スーパーでの作品展に出展し交流している。事業所のパンフレットを回覧板で紹介してもらう、野菜を持ってきてもらう、ひな人形を寄付してもらう等している。毎週のゴミ当番や清掃活動に職員が協力している。	
3	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催し、頂いたご意見を参考にしています。最近では災害用のトイレについてアドバイスを受け、早速購入しました	会議に地域の代表者が多数参加され、地域の公民館を使用させてもらっている。事業所の活動状況や事故報告等をしており、全委員から質問や意見等の発言があり経緯や実情を説明している。BCP策定や災害時のトイレ使用後の凝固剤の助言を得て導入した。	
4	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当者とはメールで連絡を行うことが多いですが、必要時は直接伺うこともあります。助言をいただける関係です	日常の業務連絡や事故報告は電話やメールで行い、書類提出時は出向いている。市の事業所協議会に所属し大型スーパーの協力で開催される作品展に出展し、部会活動の会議に出席し意見交換している。市主催のズーム研修に参加している。	
5	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内、施設外で研修を実施し「身体拘束廃止」について周知、廃止に向けて実践しています。玄関の施錠は事故防止のため市から施錠をするよう指示を受けています。庭への掃き出し窓は施錠をしていません	身体拘束廃止に向けた指針を整備し、身体拘束適正化委員会を3ヶ月に1回開催し、ミーティング等で職員に周知している。本部での管理者会議においても拘束しないケアへの課題を協議し、事業所にて全職員に研修を実施している。何気なく発する言葉やスピーチロックについては、特に注意している。	
6	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内、施設外での研修実施、事例検討を行い虐待を防止するよう努めています	虐待防止の指針を整備し、虐待防止委員会を3ヶ月に1回開催し、その内容を職員に周知している。TVで放映された事例等を活用し、日頃のケアの振り返り、何に気づいたか、どうすると良いのか、改善できる事等を話し合い、虐待防止に努めている。	

グループホーム百々各務原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人制度について学ぶ機会を設けているが、ホームで該当する方はいないため、身近な制度と感じられないのが現状です		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は説明時間を十分に持ちご不明点を伺うようにしています。時間の経過により失念されている事項は再度ご説明をしています		
9	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や玄関の意見箱、あるいは苦情窓口をご案内しています。外部評価もご意見をいただく機会としています	便りや面会時以外にも家族の希望や都合に合わせて、メールや電話で利用者の様子を頻繁に伝えて思いや要望を聞いている。訪問診療後の利用者の様子や医師の所見を毎回伝える事で安心してもらっている。医療処置の要望に医師から説明してもらったり、外出や外泊の要望に対応している。	
10	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常に管理者に意見を言う機会があります。また面談希望者は面談実施に向け予定を組みます。可能であれば反映していきます。意見として研修補助制度を設けることもできました	管理者は日頃から職員と同じ業務に入り、職員の提案や要望を聞いている。作品展のテーマ、レクリエーションの内容、壁画の構想、ミキサーや掃除機の買い換え等の提案や要望を受け入れている。資格取得等の研修費の補助について、職員の要望から本部に交渉し実現している。壁紙の補修についても本部に相談している段階である。	
11	(9)	○就業環境の整備 代表者は、管理者及び職員個々の努力や実績、勤務状況を把握するとともに、職員が向上心を持って働けるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境や就業条件の整備に努めている	有給取得や育児休暇、介護休暇も就業規則に明記しています。それぞれの職員の就業条件に配慮しています	職員の年齢、体調、家庭事情や希望に応じて勤務調整をしている。希望休、連休、有給休暇の取得も希望に合わせている。食費の補填、インフルエンザ予防接種の補助、忘年会実施、当日勤務者には商品券の支給等で、職員同士も気持ちよく働けるよう配慮し働きやすい職場にしている。	
12	(10)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	希望があれば管理者の推薦を得て資格取得のための研修に参加する機会があります	年間研修計画に基づき、内部研修は全員が参加しやすいようミーティング後に毎月行っている。外部研修は管理者の推薦や希望で受講し補助がある。新人研修は、OJTによる業務指導を行い、介護技術は各項目のシートで習得できるようにしている。	

グループホーム百々各務原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会づくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が同業者と交流し、ホームで周知する形をとっています		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
14		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に生活することで利用者様と対等な関係作りを目指しています。困っているときはお互い助け合えることもあります。普段の会話から相手の方の気持ちが理解できています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
15	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご入居時にご家族様からの情報をいただき、また職員間で情報共有することでほぼ全員の方のご希望を理解できています	日々の暮らしの中での会話から思いや希望を聞いている。その人に合わせて声かけの工夫や選択肢を用意し聞いている。耳の遠い人には、大きな声で短い言葉でゆっくりと聞いている。起床時間や就寝時間はその人のペースに合わせている。	
16	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画立案時、変更時は必ず本人様ご家族様の意向を伺い、職員ともすり合わせていきます。主治医や歯科医、訪問看護の意見もチームの一員としています	本人や家族の意見は事前に聞き、医師や看護師の意見も参考に介護計画を作成している。長期目標は1年、短期目標は6ヶ月とし、毎月のモニタリングやミーティングの話し合いで見直しが必要な人は、その都度変更している。	
17	(13)	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援経過として日々申し送りに記載し、情報共有を行っています	個別の支援記録には実践したケア、利用者の様子や発した言葉、申し送り事項を記録している。医師、歯科医、看護師からの情報は蛍光ペンで色分けし見やすくしている。iPad、連絡ノート、業務日誌も併用し、申し送りでも口頭伝達にて共有している。	
18	(14)	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況変化に対応するため常に情報を収集するようにしています。ご家族とのコミュニケーションを大切にしながら今必要としているサービスを職員と検討しています	専門医への受診の付き添いに家族の都合が悪い場合は、職員が同行し付き添っている。日用品の買い物を代行したり、利用者と一緒に買い物に行ったりしている。利用者のできる能力に合わせて、家族や知人への年賀状を書く支援をしている。	

グループホーム百々各務原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源はあまり活用できていないが、知人の来所をいただき少しでも以前の生活に近づけたいと思っています。行きつけの美容院へ行く機会もあります		
20	(15)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医が24時間対応してくださり、家族様本人様の意向も大切にしてもらえ、ホームとも良い関係ができています	入居時に家族の希望で全員が協力医に変更している。専門医の受診に家族が同行する時は、日頃の様子を記した書面を渡し、受診後に報告を受けている。事業所が契約している訪問看護師が定期的に健康管理し、急変時は医師の指示にて対応している。	
21	(16)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時はサマリーによる情報提供を行い、退院時は病院関係者（時に訪問看護師同席）とも面談しホームでの生活が円滑にいくよう心掛けています	入院時は介護サマリーで情報提供し、病院の退院調整看護師と電話やFAXで連絡を取り合い、家族からも報告を受けている。退院時はカンファレンスに参加し、家族の希望も聞き退院後の生活が安心できるよう支援している。サマリーをもらい必要に応じ訪問看護師も同席する場合がある。	
22	(17)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居時に「重度化」「看取り」の方針を書面で示しています。その後の状態変化に合わせて「できること」「できないこと」を説明しています	入居時に事業所の方針を説明し意思の確認をしている。状態の変化に応じて医師から説明してもらい、事業所が対応できる事を伝えながら意思の再確認をしている。看取りを希望時は、医師、看護師、家族や職員と連携し、終末期ケアの支援をしている。毎年看取りの研修を実施している。	
23		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修の機会を設けています		
24	(18)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施し、災害時の訓練を行っています	夜間想定を含む避難訓練を行い、訓練後に反省点を話し合っている。車イスで階段を使った垂直避難の訓練も行っている。備蓄品はリストを作成し賞味期限を管理している。事業所を地域の避難場所として提案しているが、訓練時に住民の協力が得られていない。	コロナ禍前は多数の住民が参加し訓練を実施していた。非常災害時に地域と円滑な連携ができるよう協力体制を整え、訓練時に住民の協力が得られる働きかけに期待したい。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
25	(19)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として、同じ人間としてお互い尊重しあえる関係性を心掛けているが、耳が遠い方には時として声が大きくなっていることもある	一人ひとりを尊重して丁寧な言葉かけを心掛けている。家庭的な雰囲気の中にも人生の先輩として尊敬する気持ちを持って、言葉遣いや声の大きさ等にも気をつけている。印刷物に写真を使用する事は同意を得ている。	
26		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の職員が利用者様の自己決定を支援しています		
27		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の気分や体調に合わせたレクリエーションや活動の声掛けを行うことで、その方のやりたいことを支援しています		
28	(20)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本日のメニューを説明して食欲がわくように心がけています。手伝いを楽しみにしている方には協力していただきます	利用者の希望する献立とし苦手な物は代替品にしている。災害や緊急時に備え週2日は委託業者の副食を利用している。利用者と一緒に恵方巻や梅ジュースを作ったり、食器洗いやお盆拭きを行っている。公園で弁当を食べたり、テイクアウトを利用している。	
29		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量を記録、把握、申し送り、1日の食事量と水分摂取量のバランスが取れるようにしている。刻み食も対応		
30	(21)	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	拒否が強い方以外は口腔ケア後の確認をしている。必要であれば訪問歯科を利用してケアされている方もみえます	毎食後一人ひとりについて、歯磨きの助言や介助をしている。状態に合わせスポンジブラシや舌ブラシ等を使用し、夜間は義歯洗浄し保管している。希望で歯科医や歯科衛生士の訪問診療や指導を得る人もいる。発声練習や舌出し運動で誤嚥防止にも努めている。	

グループホーム百々各務原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を確認しトイレ誘導を行っている。失敗の時もあれば成功することもあるが、継続して行っています		
32		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	拒否のある方は職員を替えたり、上手に場所誘導し入っていただけるよう努力しています。拒否が強いときは無理強いはしません。本人様のご希望時間にできる限りそってお願いしています		
33		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	職員は利用者様の生活リズムを把握しているので休息が必要な方は休んでいただき、夜はそれぞれの就寝時間に合わせています		
34	(22)	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は利用者様の服用薬の把握に努め、変更追加等はさらに情報共有しています。薬局の助言もいただいています	服薬時は二人の職員が名前や日付の確認をし、スプーンに載せ口腔内に入れる介助や見守りをして落薬を防いでいる。口腔ケア時に義歯や口腔内の付着を確認している。空き袋は一日分を保管し廃棄している。服薬変更や形状変更等は職員で共有している。	
35	(23)	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々レクリエーションや活動、散歩等声掛けして気分転換を図っています	食器洗いやお盆拭き、洗濯物畳み等利用者のできることを探りながら一緒に行っている。畑で収穫した梅のジュース作りも楽しんでいる。新聞や雑誌を読んだり、編み物をしたり、作品づくり等一人ひとりが楽しめるよう支援している。	
36	(24)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	感染症、熱中症などに気を付けながらできる外出を考えています。天候が良い日は散歩にも出かけます。ご家族様の協力で外出される方もあります	近隣への散歩は利用者の希望や体調、気候状況等に合わせて支援している。喫茶店や弁当を持ってピクニックにも出掛けている。作品展の見学、桜やバラ等の花見に出掛け季節を楽しんでいる。家族の協力を得て、外食、買い物や美容院等に出掛ける利用者もいる。	

グループホーム百々各務原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホーム内ではトラブル回避のためお金の所持はありません。新札発行時は利用者の方にも見ていただき、時代の移り変わりを感じていただきました		
38		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があるときは家族様の了解をいただいた場合ご連絡しています。携帯を持っておられる方もお見えです		
39	(25)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の清掃、換気を実施。室温、湿度を計測。季節ごとの壁飾りや行事写真を貼り季節感を意識しています	庭に咲いたバラ、秋桜や菊等を飾り、季節毎に壁面飾りを掲げ季節感を採り入れている。掃除、換気、消毒(トイレは使用の都度)をこまめに行い、快適に過ごせるようにしている。ベランダやテラスに洗濯物を干し畳コーナーで畳んでいる。新聞や雑誌を読んだりTVを見たりして思い思いに過ごしている。	
40		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様の交流関係を把握しているので座席の配置は全員が理解しています		
41		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	主に家族様が考えて配置されます。生活していくうちに職員の気づきも取り入れ危険のないように変更する場合があります。居室の表札は家族様が作られる場合とご本人様と職員で作成する場合があります		
42		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	職員は利用者様の「できること」「わかること」を把握しているのでお一人ずつの能力に合わせて危険のないように支援しています。トイレやお風呂にはわかりやすいように表札を設けています		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2190500153		
法人名	有限会社百々		
事業所名	グループホーム百々各務原		
所在地	岐阜県各務原市那加桐野町7-44-1		
自己評価作成日	令和6年8月26日	評価結果市町村受理日	令和6年11月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2190500153-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橘町1丁目3番地		
訪問調査日	令和6年10月18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～42で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
43	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:15)	☐	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	50	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9)	☐	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
44	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14,27)	☐	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	51	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2)	☐	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
45	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:27)	☐	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	52	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:3)	☐	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
46	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:25,26)	☐	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	53	職員は、生き活きと働いている (参考項目:10,11)	☐	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
47	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:36)	☐	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	54	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	☐	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
48	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:20)	☐	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	55	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	☐	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
49	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:18)	☐	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各所に掲示しており、全職員が意識しています			
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所が自治会に加入し回覧板で行事の案内をしています。ごみ当番も行っています			
3	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で活動の報告や各委員からの意見、助言、質問に対して話し合う機会を設けています			
4	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議への参加もいただき、連絡を取り合える関係作りを実施しています			
5	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内、外の研修で事例検討も行い、身体拘束廃止に向けて全職員が学んでいます			
6	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についても内外の研修で学び、虐待を防止しています			

グループホーム百々各務原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	該当する方が見えないが、研修で学んでいる		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には説明時間を設けて十分に説明しています。時間の経過とともに失念された事項は都度説明をしております		
9	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様とは日ごろからコミュニケーションをとり、ご意見をいただけるような関係作りを目指しています。玄関入口には意見箱を設置し、相談窓口のご案内もしています。頂いたご意見には事業所として検討してお返事しております		
10	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常日頃より管理者には意見を言える状況であり、希望すれば代表との面談も設けています。意見に対しては実践可能なことは事業所として反映しています		
11	(9)	○就業環境の整備 代表者は、管理者及び職員個々の努力や実績、勤務状況を把握するとともに、職員が向上心を持って働けるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境や就業条件の整備に努めている	各職員のワークライフバランスを配慮し、希望に沿ったシフトを作成しています。育児休暇や介護休暇も就業規則にあり、休みやすい体制を心がけています		
12	(10)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者の推薦を得て資格取得の研修参加もあります。向上心を妨げないよう考えています		

グループホーム百々各務原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会づくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者を通じて情報を得ています		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
14		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	敬う気持ちを持って介護にあたっています		
Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
15	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意見を伝えることが困難な方はミーティング等で職員の意見を聞き、ご本人の意向を探っています。その人らしい生活ができていると思います		
16	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画の見直し、変更時はご家族様のご意向や、ミーティングにて話し合い、現状に即した計画を作成しています		
17	(13)	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや変化を支援経過に記載して全職員が情報共有しています。計画の見直しに活かしています		
18	(14)	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況の変化に対し、ホームとしてできることは支援として行っています。褥瘡等医療行為には訪問看護の導入もあります		

グループホーム百々各務原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染症予防の観点から地域資源の活用が少ないです。ご家族様との交流は途切れないうよう支援しています		
20	(15)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医とは連携が取れています。急変や困りごとにも即対応していただい、良い関係が築けています		
21	(16)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は情報を提供し、退院時はカンファレンス開催、必要時は訪問看護同席にて退院に向けて情報を共有しています		
22	(17)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご説明し、「重度化」「看取り」について書面でお話ししています。状況変化した時には再度ご説明しています		
23		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修を実施しています		
24	(18)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的実施し、災害備蓄の確認も定期的に行っています		

グループホーム百々各務原

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
25	(19)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に相手の立場を尊重し、傾聴の姿勢で対応しています。プライバシーに配慮して対応するよう心がけています			
26		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々一緒に過ごしているので利用者の方の思いやご希望は理解できています。自己決定ができるように声掛けをしています			
27		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人ずつのペースを守るよう日々職員間で情報共有し、支援に努めています			
28	(20)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	全員の嗜好を把握しており、嫌いなおかずの時は代替品を提供しています。食事提供時にメニューを伝え、視覚からも楽しんでいただいています			
29		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録をとることで摂取量を把握し、足りていない方は嗜好品で補っています。ミキサー食対応もしています			
30	(21)	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施しています。気になる方は訪問歯科診療も導入しています			

グループホーム百々各務原

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	記録することで各人の排泄感覚を把握しています。できるだけトイレで排泄できるよう誘導しています		
32		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	シャワー浴希望の方は希望通り対応しています。失敗されたときは都度入浴していただいています		
33		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様の入眠時間や休息を優先できるよう職員が情報を共有し、お声がけしています		
34	(22)	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が各人の服薬状況を理解しており、疑念があるときは薬剤師に尋ねることができる体制を整えています		
35	(23)	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活を楽しくめるように「できること」を職員が探りながら支援しています		
36	(24)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族様のご協力を得て散歩に出かけていただいています		

グループホーム百々各務原

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブルのもとになるため金銭の所持はありません。買い物は立替で行っています		
38		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状を職員と一緒に書いています		
39	(25)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を持っていただけるよう壁紙や写真等定期的に張り替えています		
40		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合わない方同士がトラブルにならないよう常に配慮しています。席の配置には十分意識して誘導しています		
41		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居時にご家族様がレイアウトされます。その後危険や混乱がある品は回収することもあります。ご自分の作品を飾っておられる方もあります		
42		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室やトイレの表示をわかりやすく表記しています		